

環境活動レポート

人と環境の最適調和を目指して



2018年

2018年1月1日～2018年12月31日

第8版

2019年1月30日発行日



株式会社新成エンジニアリング

目 次

	ページ
1 組織の概要	2
会社名、所在地、事業の概要、事業規模ほか	
2 対象範囲	3
環境組織	
3 環境方針	4
4 環境目標	5
5 環境活動計画	6
6 環境目標の実績	7
7 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容	12
8 環境関連法規制等の遵守状況の確認	15
評価の結果	
違反、訴訟等の有無	
9 代表者による全体評価と見直しの結果	15
10 その他	15



1 組織の概要

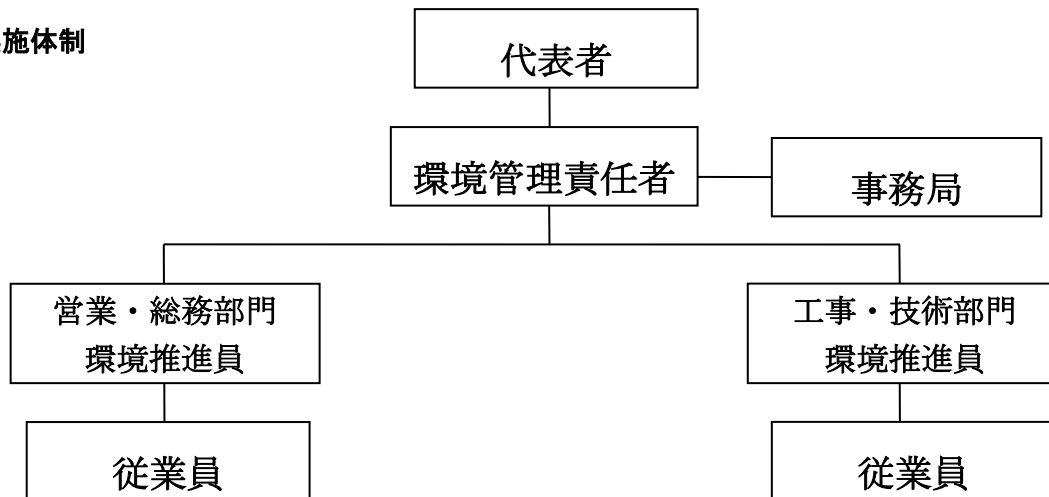
会社名	株式会社 新成エンジニアリング
代表者	代表取締役 石川 弘康
環境管理責任者	鯉沼 秀樹 連絡先 TEL 090-5190-4373
資本金	2,000 万円
売上高	約 107,100 万円(平成 29 年度)
事業の概要	環境施設関連及び機械器具の設置等並びにこれらの設計・製造・施工・修繕・販売
所在地	本社 〒321-0347 栃木県宇都宮市飯田町 87-6 工場 〒322-0011 栃木県鹿沼市白桑田 628-5
電話・ファックス	本社 TEL 028-649-3331 FAX 028-649-3332 工場 TEL 0289-65-5997 FAX 0289-64-3691
敷地面積	1,536 m ²
建屋床面積、建屋数	2 棟 609.7 m ²
従業員数	20 名
パート人数	3 名
総人数(社長以下)	23 名
使用設備台数(騒音系)	0 台
浄化槽排水、排出先(経路)	合併処理浄化槽 10 人槽、水路(至 姿川)
契約電力	低圧電力 30kw、従量電灯 C 15kVA、従量電灯 B 40A
所有車両台数	12 台
(内訳)	
トラック(積載量毎)	2t車-8 台 4t車-1 台(NOx・PM 適合)
営業車(社有車)	4 台 (HV 車 3 台)
フォークリフト	2t -1 台

2 対象範囲

- (1) 本社及び工場の全組織をエコアクション 21 環境経営システムの対象範囲としています。

【環境組織図】

〔図〕実施体制



代表者 : 経営層として、環境経営システムの有効性を確認し、運営に必要な資金・人材・物質を準備する責任と環境管理責任者を任命し、活動の結果を見直す権限を持つ。

環境管理責任者 : 環境経営システムを適正に維持・運営するための権限を持ち、環境活動に関することを全従業員に周知するとともに、活動結果と情報を必要に応じ代表者に報告し、代表者の見直しの結果等による指示等を実行する責任を持つ。

環境推進員 : 環境管理責任者の指示により環境情報をグループ員に周知し環境目標の達成のため活動を推進する責任と、結果を環境管理責任者に報告する責任があり、環境活動推進に必要な権限を持つ。

従業員 : 環境推進員の指示により、環境目標を達成するための活動を推進する責任を持つ。

(2) 環境レポート対象期間及び発行日

毎年 1 月～12 月を対象期間とし、1 月に発行いたします。

この環境レポートは対象期間を平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日とし、平成 31 年 1 月 30 日に発行した第 8 版です。

3 環境方針

環境方針は代表者が作成し、全社員に周知するとともに、一般に公開します。
また、環境方針の内容は必要により適宜変更します。

環 境 方 針

基 本 理 念

私たちはきれいな地球をまもります

当社の事業活動が環境に及ぼすあらゆる影響を踏まえ、地球環境を保全するため、環境負荷の低減と循環型社会の形成に取り組み、公害防止・自然環境の保全を図るとともに、活力ある地域づくりを推進し、地域社会のために貢献します。

基 本 方 針

当社による環境関連施設の工事およびサービスからの環境負荷の低減に努め、環境経営システムを構築し、環境活動を継続的に推進するため、代表者による活動の見直しを実施し、継続的改善等を行い、活動の向上を図ります。

また、環境への取り組みとして環境目標を設定し、それらを達成するためエネルギー使用の節約やリサイクルなどの環境活動を推進し、循環型社会形成への貢献をめざします。

《環境への取り組み》

つぎのことに取り組みます。

- 二酸化炭素排出量の削減
- 総排水量の削減
- 廃棄物排出量の削減
- 化学物質の適正管理
- グリーン購入の推進
- 環境関連法規制の遵守

この環境方針を全社員に周知するとともに、一般に公開します。

平成24年 2月 1日 制定
株式会社 新成エンジニアリング

代表取締役 石川 弘康

4 環境目標

環境目標	中長期目標	単年目標		
		2018年	2019年	2020年
二酸化炭素 総排出量の削減	2020年まで 対2017年比を維持 80,786.09 (kg-CO2)	2020年まで 対2017年比を維持 80,786.09 (kg-CO2)	2020年まで 対2017年比を維持 80,786.09 (kg-CO2)	2020年まで 対2017年比を維持 80,786.09 (kg-CO2)
総排水量の削減	2020年まで 対2017年比維持 132(m ³)	2020年まで 対2017年比維持 132(m ³)	2020年まで 対2017年比維持 132(m ³)	2020年まで 対2017年比維持 132(m ³)
廃棄物排出量 の削減	2020年まで廃棄物の 分別率100%を維持	2020年まで廃棄物 の分別率 100%を維持	2020年まで廃棄物 の分別率 100%を維持	2020年まで廃棄物 の分別率 100%を維持
使用化学物質 の適正管理	化学物質の使用と保管 の適正管理	化学物質の使用 方法と保管管理 の適正化	化学物質の使用 方法と保管管理 の適正化	化学物質の使用 方法と保管管理 の適正化
グリーン購入の 推進	環境ラベル表示 製品の積極的 導入 3Rと原材料の 削減	使い捨て製品 の削減 3Rの実施の 徹底	環境ラベル 商品の追加 調査と積極 的購入 原材料の 削減	グリーン購入 の積極的 推進 原材料の 削減

5 環境活動計画

環境目標		活動計画
二酸化炭素 排出量の削減 (燃料使用量)	2020年まで 対2017年比を 維持	社用車の燃料の削減：エコドライブの推進 社用車の燃料の削減：積載効率向上等 「急」運転をしない
二酸化炭素 排出量の削減 (電気使用量)	2020年まで 対2017年比を 維持	事務所、工場の無駄な電気使用量の削減(全員活動) 冷暖房温度の適正管理 省エネ製品への切り替え
上水道の 使用量削減	2020年まで 対2017年比を 維持	生活用水の節水活動の徹底(全員活動) トイレの水洗水量の削減
廃棄物排出量 の削減	分別率 100%	廃棄物の分別資源化と発生量削減の徹底(全員活動) 金属くず等資源物類の分別再資源化推進 産業廃棄物の適正処理
使用化学物質 の適正管理	化学物質の 使用・保管の 適正化	使用化学物質の種類と量の調査及び区分 MSDS記載事項の認識向上：社内外教育による意識 向上 適正な保管方法の検討(場所、方法、責任者等)
グリーン購入の 推進	グリーン購入量 の追加 原材料の削減	環境ラベル商品で購入可能な物品の調査 購入物品一覧表の作成と購入計画の作成 部品再利用等原材料削減の推進

6 環境目標の実績 (2018/1/1～2018/12/31)

(1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量削減記録

① 二酸化炭素排出量削減目標

- 対 2017 年 目標 73,584 kg-CO2 (2017 年)

② 二酸化炭素排出量削減実績

- 2017 年 (2017/1/1～2017/12/31) 73,584kg-CO2

内訳: 電力=14,787 kg-CO2、化石燃料=58,797kg-CO2

- 対 2017 年比 10,072(kg-CO2)減少のため、目標達成

二酸化炭素排出量実績

kg-CO2

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
2017 年	7,148	8,468	7,323	5,745	4,512	4,666
2018 年	6,185	6,795	6,787	4,117	2,721	3,638
2019 年						
2020 年						
7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
5,055	4,578	5,670	5,697	6,789	7,934	73,584
4,885	3,985	4,749	5,403	7,086	7,160	63,512

●活動結果

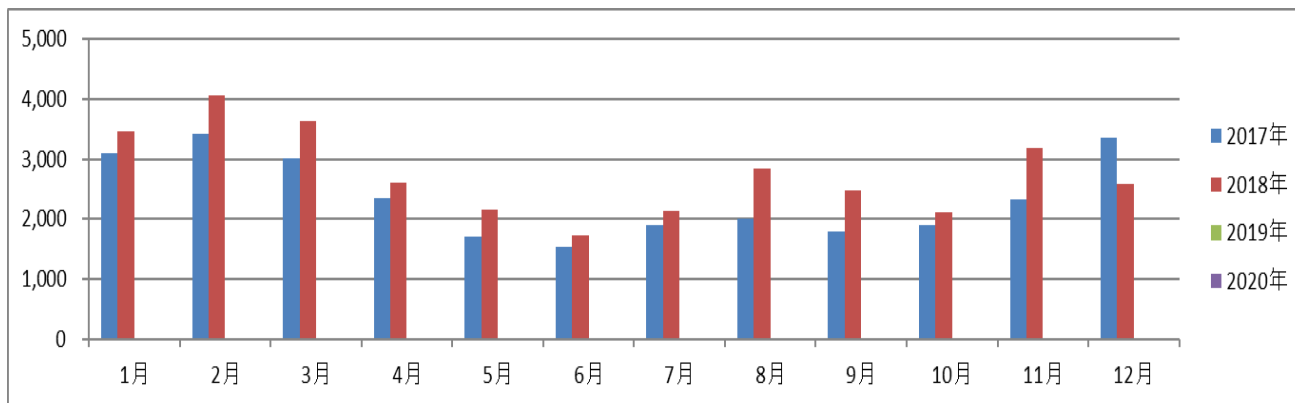
- ア. 電力使用量による二酸化炭素量 14,787 kg-CO2
- イ. 化石燃料使用量による二酸化炭素量 58,797 kg-CO2
- ウ. 二酸化炭素量合計 73,584 kg-CO2

③ 電力使用量による二酸化炭素内訳

CO2 換算式: 電力量 × 0.521 (平成 26 年度の東京電力二酸化炭素排出係数)

Kg-CO2

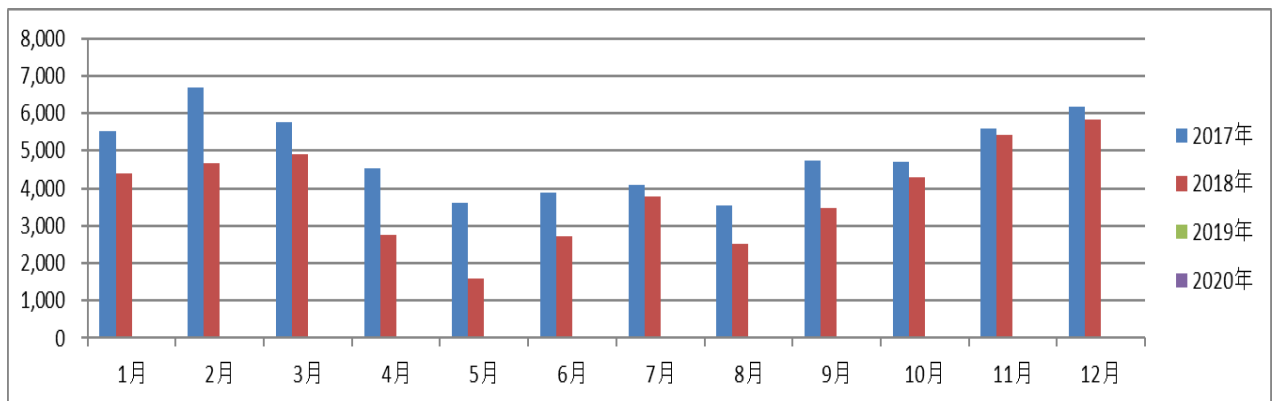
CO2	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
2017 年	1,611	1,783	1,572	1,220	888	795
2018 年	1,802	2,111	1,894	1,357	1,126	905
2019 年						
2020 年						
7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
985	1,047	933	989	1,212	1,752	14,787
1,114	1,479	1,294	1,105	1,659	1,344	17,189



④ 化石燃料による二酸化炭素量内訳

Kg-CO₂

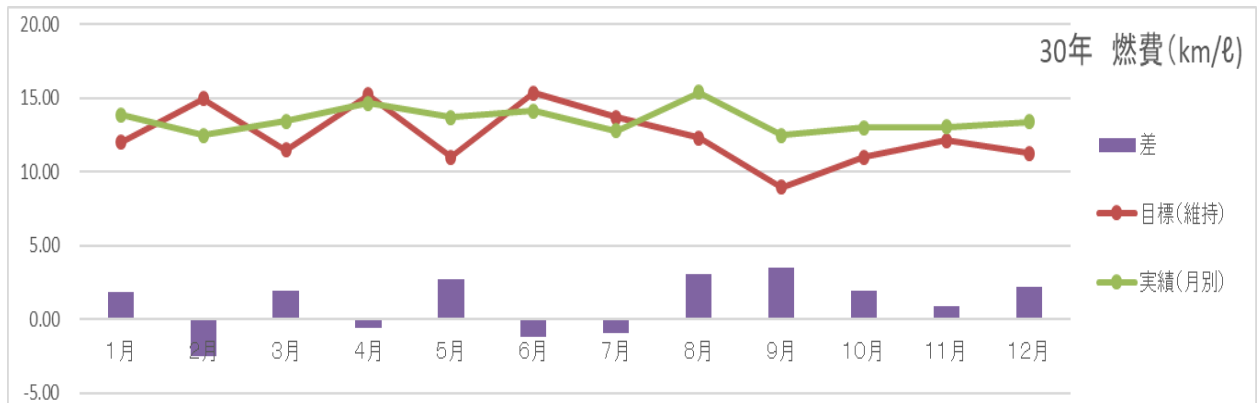
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2017年	5,537	6,685	5,750	4,525	3,624	3,871
2018年	4,383	4,684	4,893	2,760	1,595	2,733
2019年						
2020年						
7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
4,070	3,531	4,737	4,708	5,577	6,182	58,797
3,771	2,507	3,455	4,299	5,427	5,816	46,323
2						
2						



2017年比 維持に対して12,474 kg-CO₂減少し目標を達成することが出来た。

⑤ 燃費改善 目標 12.02km/ℓ (中長期目標 12.02 km/ℓ) km/ℓ

前年実績	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	14.65	10.99	12.29	14.29	9.34	10.88
目標(維持)	14.65	10.99	12.29	14.29	9.34	10.88
実績(月別)	13.86	12.48	13.46	14.68	13.72	14.14
差	-0.79	1.49	1.17	0.39	4.38	3.26
7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
15.31	12.17	8.45	11.96	12.76	11.14	12.02
15.31	12.17	8.45	11.96	12.76	11.14	12.02
12.81	15.41	12.50	13.00	13.05	13.42	13.55
-2.5	3.24	4.05	1.04	0.29	2.28	1.53

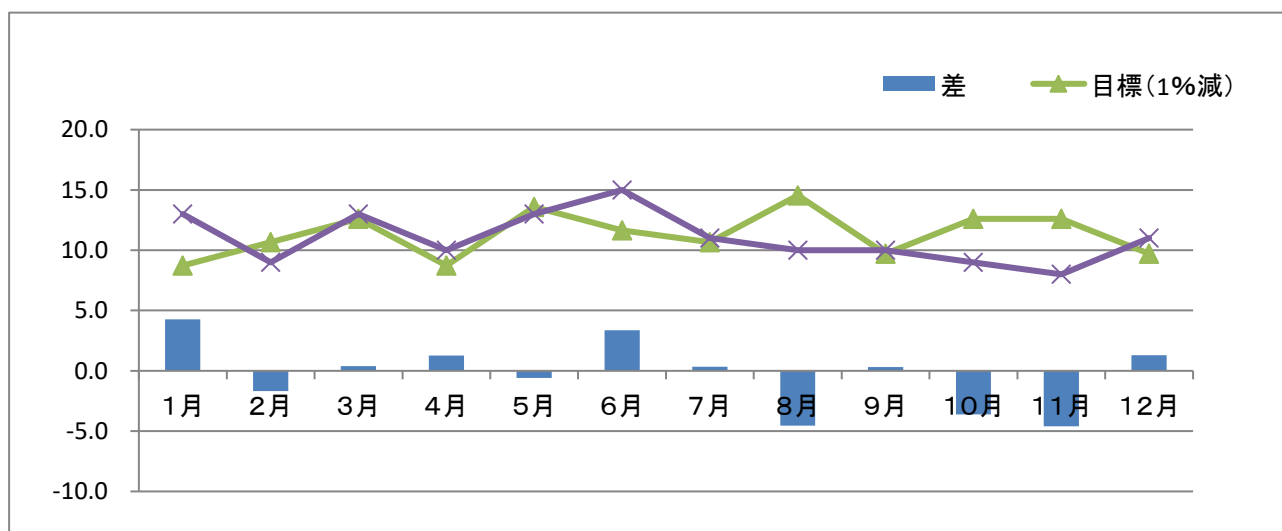


前年度より 1.53 km/ℓ燃費を向上することが出来た。

(2) 総排水量の削減

m³

前年実績	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	11.00	8.00	10.00	13.00	9.00	10.00
目標(維持)	19.00		23.00		19.00	
実績(月別)	25.00		24.00		20.00	
差	6.00		1.00		1.00	
7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
10.00	10.00	22.00		29.00		132.0
20.00		22.00		29.00		132.0
34.00		27.00		20.00		150.00
14.00		5.00		-9.00		18.00



総排水量の削減目標 前年実績に対して1%(132.00 m³の1%、1.32 m³)の削減
 ・生活用水の節水活動の徹底(全員活動)
削減目標 1.32 m³に対し、1.14 m³増加のため目標未達成

(3) 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量の削減目標 分別率 100%

- ・ 廃棄物の分別資源化と発生量削減の徹底（全員活動）
- ・ 金属くず等資源物類の分別再資源化推進
- ・ 産業廃棄物の適正処理
- ・ 廃オイル保管場所を整備し、必要な表示をした。

削減目標 分別率 100%に対し、平均分別率 100%で目標を達成した。



(4) 使用化学物質の適正管理

化学物質の使用・保管方法の適正管理推進

化学物質保管庫を整備し直し、塗料・シンナー等を整理するとともに必要な表示を行った。

社員等に MSDS 記載事項と使用・保管方法の教育を行い、意識の向上を図った。

(5) グリーン購入の推進

環境物品の積極的購入

事務用品や作業服などの作業用品を中心としたグリーン購入を積極的に推進し、使用済みの用紙の裏紙や封筒の再利用を徹底した。

また、再利用できる機械部品等を整備しなおして積極的に使用し、原材料の削減に努めた。

7 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組と計画

(1) 取組結果とその評価

環境活動を始めてから8年目になり、中長期目標を新たに作成した。

前回同様に①二酸化炭素排出量の削減②上水道の使用量削減③廃棄物排出量の削減④使用化学物質の適正管理⑤グリーン購入の推進の5つとなっている。二酸化炭素排出量は、主となる燃料、電気の使用量を2017年比で維持することを目標としていた。

結果として二酸化炭素の総排出量を減少させることが出来たが、電力使用量が約13%増加してしまった。それに対して燃料の使用量が減少した為今回の様な結果になった。

昨年と同様にクールビズやグリーンカーテンなどを実施し、エアコンの節電を図ったほか、照明などの節電、パソコンの省電力化など環境活動に努めた。



グリーンカーテン

(2) 今後の取組と計画

① 二酸化炭素排出量の削減

社用車の燃料使用量を削減するため、車両の運行状況を記録して使用履歴を明確にし、エコドライブの推進、運行ルート効率化、積載効率の改善を図るほか、車両更新時の低燃費車への更新をすすめる。

また、電力使用量を削減するため、事務所・工場の節電、冷暖房温度の適正管理と効率化、省エネ製品への切り替え、グリーンカーテンの拡大、クールビズや工夫改善などを推進します。

② 総排水量の削減

水道の使用量が増加したが、今年は夏季の暑さと残暑が続いたものの、洗濯ものまとめ洗いや雨水の利用、こまめな止水などの節水を図ることにより水道使用量の増加を抑制できたことから、生活用水の削減などの節水活動を徹底し、さらなる排水量の削減につとめます。

③ 廃棄物排出量の削減

廃棄物の置き場所を整理して分別しやすくし、各種紙類、プラスチック、ビン・缶、金属屑など、資源物類の分別を徹底して再資源化を図ることにより、焼却ごみの削減と分別率の向上につとめます。

印刷物の裏紙や使用済み封筒の再利用、ペーパーレス化の推進を図るなど、廃棄物の排出量の削減につとめます。

また、廃油や工事廃材などの産業廃棄物を分別リサイクルすることにより、排出量の削減につとめます。

④ 使用化学物質の適正管理

製品安全データシートに記載事項をもとに社内教育を実施し、化学物質の適切な使用取扱いや保管管理（場所、保管方法、表示、責任者等）につとめます。

⑤ グリーン購入の推進

物品を購入する際、環境ラベル商品を調査し、ある場合や切り替え可能な物品がある場合は極力それらの購入につとめる。

購入物品一覧や購入計画を作成し、環境にやさしい購入品目及び量の追加につとめます。

また、繰り返し使用できる物品や詰め替え使用できる物品の使用拡大につとめ、裏紙や使用済み封筒などの再利用を徹底します。

- 8 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
創業以来、現在に至るまで環境関連法規制を遵守し、違反等はありません。
また、訴訟等についても一切ありません。
当社に關係する環境関連法規制等の最新情報についても定期的に確認しております。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション 21 に取り組んで 9 年目となり、新たな中長期目標への活動が進んでいるが、目標を達成できていない項目があることも事実であり、解決策を考えることが今後の課題となっている。

また、2017 年版ガイドラインへの移行や新入社員への教育なども考慮し今後の活動の計画を立てなくてはならない。

昨年同様社員一丸となって環境活動に貢献できることを期待する。

10 その他

当社は主に清掃工場、下水処理場、浄水場などの環境関連施設の修繕工事や維持管理業務を行う環境にやさしい企業として、「**私たちはきれいな地球をまもり
ます**」をモットーに人と環境の最適調和を目指しています。

M E M O



エコアクション21
認証・登録番号 0008928